

第3分科会—7

日本で働きたい！！

人材確保

外国人

これからの介護

～外国人労働者と共に働く事～

大分県津久見市

ふりがな

とくべつようごろうじんほーむ

しおさい

特別養護老人ホーム しおさい

ムハマド スルタン
マジド コイルル アディシャフ

主任ケアワーカー 足立 小百合

shiosai@fuku-doushinkai.or.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人同心会が母体である『しおさい』は2003年に大分県津久見市に開設。70床の特別養護老人ホームと10床のショートステイ、50床の養護老人ホーム、地域密着型デイサービス（定員18名）が併設された高齢者総合福祉施設です。
津久見の海と山に囲まれて、四季を身近に感じる事ができる施設です。

<取り組んだ課題>

令和4年6月より6名(男性3名、女性3名)
令和5年11月より2名(男性2名)、
令和7年4月より4名(女性4名)、
インドネシアより技能実習生を受け入れる。

○施設側

- ・外国人を受け入れる不安

○技能実習生

- ・日本での生活が不安
- ・日本語の習得
- ・介護技術の習得
- ・日本の文化にふれたい

<具体的な取り組み>

○技能実習について、職員への事前説明

○生活のサポート

- ・地域や交通ルール
- ・買物や病院受診支援
- ・イスラム教の理解

○日本語の学習サポート

- ・日本語能力試験N3に向けての勉強会
- ・問題プリントを常備
- ・外部講師による勉強会

会

○介護技術の勉強サポート

- ・技能実習指導員の増員1名→5名
- ・指導員によるオリエンテーション
- ・マンツーマンによる現場指導
- ・介護技能実習評価試験（初級、専門級）に向けての勉強会

○日本での様々な文化体験

<活動の成果と評価>

○施設側

- ・実習生は覚える事が早く、どんな仕事でも一生懸命取り組み、笑顔で働いている。
- ・受け入れ前の不安はなくなり、今ではなくてはならない存在となっている。
- ・実習生を交えて出かけたたりイベントを企画したりする事により、職員間の交流も増えた。
- ・実習生に教える事により職員自身の介護技術再確認、語彙力の向上。

○技能実習生

- ・大きな問題なく日本での生活ができています。
- ・日本語能力試験 N3、N2 に合格。
- ・介護技能実習評価試験（初級・中級）の合格。
- ・日本での様々な体験ができ、楽しんでいる。

<今後の課題>

○技能実習生

- ・日本語能力試験N1、N2合格を目指す。
- ・介護福祉士合格を目指す。
- ・日本語で正確に記録する事、書かれた記録の理解力を高める。
- ・特定技能へ移行し働いていく。

○施設側

- ・技能実習生に長く働いてもらう為の支援継続。
- ・技能実習生と共に成長しながら、お年寄りの生活を支えていく。